

退役米陸軍大佐：プーチンのウクライナ戦線目標は「ほとんど達成」

<https://www.infowars.com/posts/retired-us-army-colonel-macgregor-putins-goal-in-ukraine-almost-reached/>

Kelen McBreen

March 16, 2022

⇒「この戦争は、その意図と目的のすべてにおいて、すでに決定している」と、元米トップ陸軍高官は言った。

元米陸軍大佐 Douglas Macgregor が、火曜日、*The Grayzone* ポドキャストに参加、ウクライナの展開する危機についての彼の考えを述べた。

作家で「グレイゾーン」のホスト Aaron Maté は、大佐に対し、ウクライナが、プーチンの予測したより大きな戦闘を仕掛け、ロシアの軍事敗退に打撃を与えていると言われることについて訊ねた。

マグレガーは、ぶっきらぼうに、こう説明した：——戦況の現実には、残ったウクライナの部隊を孤立化させ、彼らはいろんな村落で包囲されているということだ。

ウクライナ軍は、小さな「針で突く」ような攻撃を、わずかの対象に加えているだけ、と彼は言い、「この戦争は、その意図と目的のすべてにおいて、すでに決定している」と言った。

ロシアにとっての問題は、いかに市民の死や、財産への損害を、最小限にしながら進軍を行うかだ、とマグレガーは強調した。

「プーチンは最初から、非常に厳しい命令を出し、こうしたことを避けるように注意している」と、彼は説明した。「それを避けることで問題だったのは、作戦の進行が遅れたことで、これがウクライナ人にも西洋人にも、誤った希望を与え、世界全体が、ロシアの敗北が始まったと思ひ込んだことだが、実際は、その反対のことが起きている。」

マグレガーは続けて、プーチンは、もし彼が、市民の生命を無視して、ウクライナに対して十分な軍事力を用いていたら、簡単に勝利を得ていたであろう。しかし彼は、より困難な、平和の道をあえて取り続けている、と言った。

この退役大佐の考えでは、ワシントンはできるだけ長く、この紛争を引き延ばそうとしているが、それは、ウクライナ高官たちのロシアとの交渉に干渉し、自分たちの次の動きを工作する時間を稼ぐためである。

ロシアの戦略については、マグレガーは、ウクライナの南東地域について触れ、そこでは推定6万のウクライナ部隊が、「大釜」とロシア軍の呼ぶものに、取り囲まれていると説明する。

ウクライナ軍は、すでに数日間も孤立させられており、水と食料と弾薬が切れてしまえば、やがて降伏するだろうと言う。

残りの部隊がこうした厳しい立場にあり、他の主要な対象が、すでにロシアによって確保されているので、プーチンのウクライナ軍撃破の目標は、ほぼ完成している、とマグレガーは言った。

ひとつウクライナの未解決の問題は、ナチの「アゾフ (Azov) 大隊」によるマリウポリ占拠であり、彼らは市民たちを退去させるのを、拒否していると言われる。

「ゼレンスキーが引き延ばせば、それだけ多くのウクライナ軍が、死ぬことになるだろう」と、マグレガーは主張した。「そして、我々がウクライナに、どれだけ多く物資を運び込もうとしても、あまり変わらないのだ。なぜなら、彼らはそれを消化 (assimilate) できず、どちらにしても、この時点で、効果的にそれを使うことはできないからだ。」

この戦争の、最も可能性の高い結末ということになれば——と退役大佐は予言した、ロシアが勝つだろう、そして、この紛争の catalyst (触媒、きっかけ) を取り巻く真実が現れて、ウクライナ軍は撃滅されるだろう。

西洋のメディアからくる最大のウソは、ロシアがその兵士たちに、ウクライナ市民を意図的に殺すよう命じている、と言われることだ、とマグレガーは、ポドキャストのホストに話した。

「それはナンセンスだ。馬鹿々々しい話だ。これ以上真実から遠いものはない」と、彼は言った。

時間が、この状況についての大佐の受け取り方が、真実であったかどうかを決めるだろう。ただ一つ確かなことは… 我々が主流メディアから真実を得てはいないということである。

【訳者 Greatchain 注】

もしかりに、マグレガー大佐の予想が外れたとしても、この危機的時点で、彼の語ってくれた、理性ある者たちの求める真実は、永遠に変わらないだろう。これが、かりに遅れて、さらに 10 年かかったとしても、躰われるべき真実は、躰われるはずである。そしてそれは、プーチンとロシアの側に起こるのであって、彼らを敵視する者たちの側に起こることはありえない。それは歴史の巨大な歯車を、途中で急に、逆に回すようなものである。

世界の主流メディアと言われ、地球を牛耳っていると思っている人々は、言葉の操作で人が動かせるものでなく、人は魂から出た言葉でなければ動かないことを、知るべきである。人を騙せば自分も不快であり、それを読む読者も不快であり、この世の中は癌の温床のようなものとして肥大し続ける。これが我々の生きる現実世界で起きている。そこから脱出すべきである。そして今、脱出の機会が訪れていることを人々は感じている。大多数の人々はその胎動を感じながら生きている。

詩人の W・B・イエイツは「他者との戦いからはレトリックが生まれ、自分との戦いからは詩が生まれる」と言った。「レトリック」とはプロパガンダのことであり、「詩」とは魂から発する言葉のことである。プロパガンダが、どこかの候補者を応援するためなら、ほとんど問題はない。それが、アメリカ-NATO のそれのように、ジェノサイドを狙うものなら、我々は黙っていることはできない。命を賭しても戦わなければならない。